

松阪はのちに豪商と呼ばれるほどの大商人が多く輩出された地です。本居宣長は自著『玉勝間』において、「富る家おほく、江戸に店といふ物をかまへおきて、手代といふ物をおほくあらせて、あきなひせさせて、あるじは、国にのみ居てあそびをり」と当時の松阪の様子を書いています。このように松阪商人たちは、江戸店は手代に任せ、故郷で人生を楽しむ風流な人が多かったのです。

本企画展では、江戸～明治時代頃の知られざる松阪ゆかりの文人たちを紹介します。また商人と文人との繋がりも考察していきます。郷土松阪の文化的一面を発見できる企画展です。

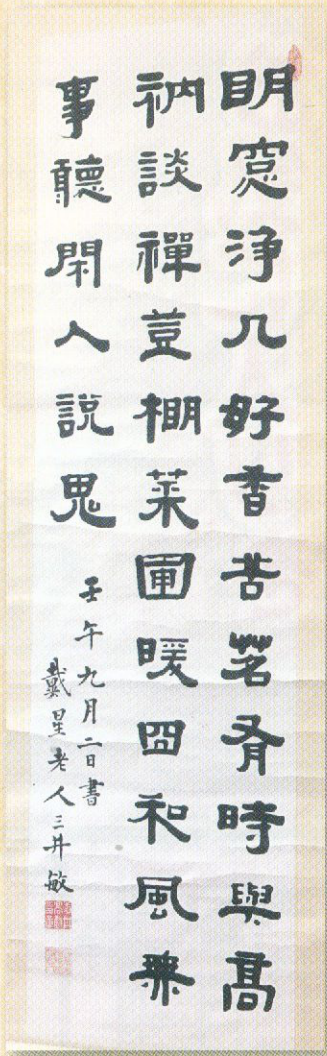
～松浦武四郎生誕200年記念～



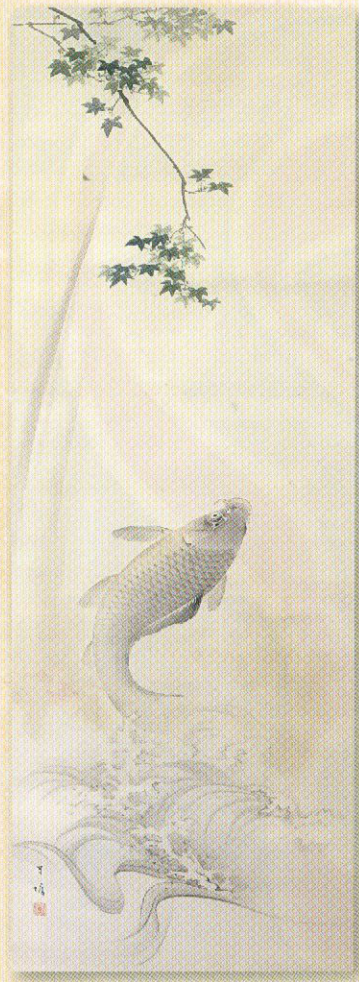
北蝦夷余誌



韓天寿 扇面



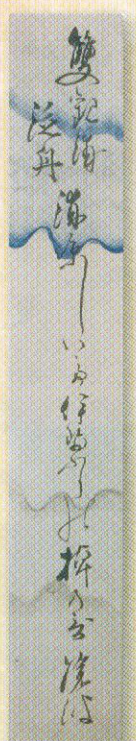
三井戴星 書幅



岡田月塘 若楓飛鯉之図



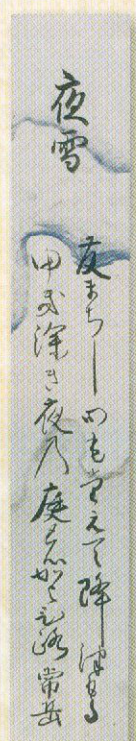
殿村小霞 福寿草図



森川滄波



三井高匡



中里常岳



長谷川常雄

短冊